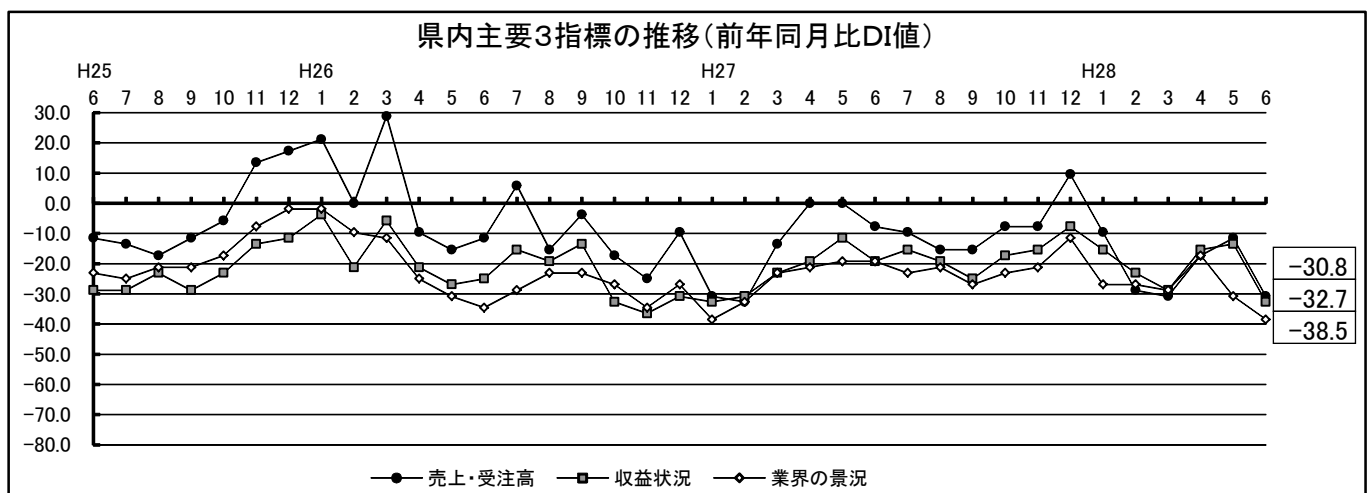


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年6月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 6月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「設備操業度」が上昇し、「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の7指標が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より19.3ポイント低下の-30.8ポイント、「収益状況」が19.2ポイント低下の-32.7ポイント、「業界の景況」が7.7ポイント低下の-38.5ポイントであった。
- 9指標中「在庫数量」「取引条件」「業界の景況」が5ポイント、「売上高」「収益状況」「資金繰り」が10ポイントを超えて大きく低下するなど、指標数値は全体的に下落傾向にある。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-30.8	-19.3	-30.3	-1.6
収益状況	-32.7	-19.2	-28.4	-1.0
業界の景況	-38.5	-7.7	-33.0	0.2

売上・受注高

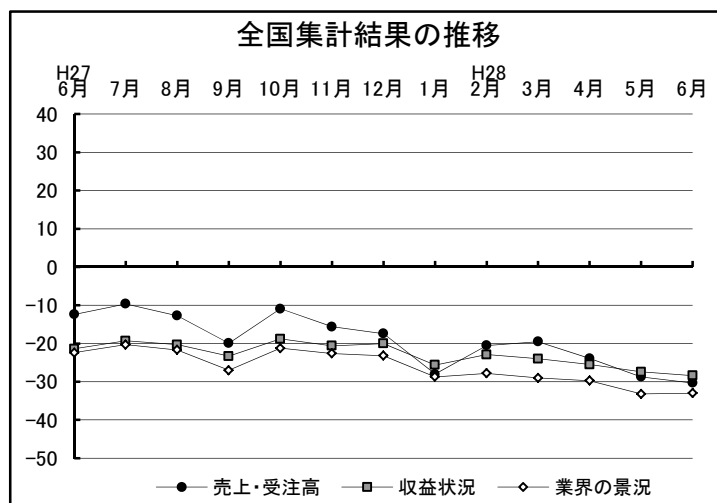
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より19.3ポイント低下の-30.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.6ポイント低下の-30.3ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より19.2ポイント低下の-32.7ポイントとなった。全国においては、前月より1.0ポイント低下の-28.4ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より7.7ポイント低下の-38.5ポイントとなった。全国においては、前月より0.2ポイント上昇の-33.0ポイントとなった。



概況

6月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「設備」が上昇し、「売上」「在庫」「価格」「条件」「収益」「資金」「景況」の7指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より19.3ポイント低下の-30.8ポイント、「収益」が19.2ポイント低下の-32.7ポイント、「業界の景況」が7.7ポイント低下の-38.5ポイントであった。9指標中「在庫」「条件」「景況」が5ポイント、「売上」「収益」「資金」が10ポイントを超えて大きく低下するなど、全体的に数値の下落が著しい。

また、業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、3業種が低下し、非製造業で6業種中4業種が低下した。「収益」は製造業で2業種が上昇、3業種が低下し、非製造業で4業種が低下した。「景況」は製造業で1業種が上昇、1業種が低下、非製造業で3業種が低下した。

全国指標では、前月の前年同月比DI値と比べて9指標中4指標が上昇、4指標が低下した。英国のEU離脱に伴い、円高のさらなる進行、為替差損による業績悪化、インバウンド需要の減退などの悪影響が現れている。また、長雨や高気温といった天候不順が商品やサービスの需給動向を一層読みにくくしており、企業の売上高・利幅は圧縮される傾向にある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	○	×	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	×	△	×	△	△	△	×
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	×	×	△	△	△	△	△	△	×
一般機器	△	×	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	×	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	×
運輸業	×	—	△	△	×	△	—	△	×
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転
(DI値 +40ポイント以上)

△ 不変

× 減少・低下・悪化
(DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	-25.0
木材・木製品	-25.0	75.0	-50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0
窯業・土石	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	-75.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0	0.0	-50.0
製造業	-20.0	-8.0	-16.0	0.0	-16.0	-4.0	-16.0	8.0	-32.0
卸売業	33.3	33.3	0.0	0.0	-33.3	0.0		33.3	-33.3
小売業	-71.4	-42.9	0.0	-14.3	-71.4	-42.9		0.0	-71.4
サービス業	-50.0		0.0	-33.3	-50.0	-33.3		-16.7	-33.3
建設業	-20.0		0.0	-20.0	-20.0	0.0		0.0	-40.0
運輸業	-75.0		0.0	0.0	-75.0	0.0		0.0	-50.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-40.7	-20.0	0.0	-14.8	-48.1	-18.5		0.0	-44.4
全体	-30.8	-11.4	-7.7	-7.7	-32.7	-11.5	-16.0	3.8	-38.5

	H27 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H28 1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
売上高	-7.7	-9.6	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	-30.8	-19.3
在庫数量	-2.9	-8.6	0.0	-8.6	-20.0	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	-11.4	-5.7
販売価格	7.7	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.7	-3.8
取引条件	-7.7	-3.8	-1.9	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-7.7	-7.7
収益状況	-19.2	-15.4	-19.2	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	-32.7	-19.2
資金繰り	-11.5	-13.5	-11.5	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	-11.5	-11.5
設備操業度	-20.0	-8.0	-8.0	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-16.0	8.0
雇用人員	-15.4	-17.3	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	3.8	0.0
業界の景況	-19.2	-23.1	-21.2	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-38.5	-7.7

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	0.0	-25.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	0.0	100.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	-75.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0
製造業	-8.0	0.0	0.0	0.0	-4.0	-8.0	8.0	0.0	0.0
卸売業	-33.3	0.0	0.0	0.0	-66.7	0.0		33.3	-33.3
小売業	-42.9	-28.6	-28.6	-14.3	-42.9	-28.6		-14.3	-28.6
サービス業	-50.0		0.0	-33.3	-50.0	-33.3		0.0	-16.7
建設業	0.0		0.0	-20.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-29.6	-20.0	-7.4	-14.8	-33.3	-14.8		0.0	-14.8
全体	-19.3	-5.7	-3.8	-7.7	-19.2	-11.5	8.0	0.0	-7.7

特記事項

情報連絡員報告(平成28年6月分)

所属組合	特記事項
味そ製造業	原材料が高止まりの中、28年度産加工用米の価格が再び上昇気配である。今後の状況次第では資金繰りに影響が出そうだ。
染色整理業	低調に推移している。
外衣・シャツ製造業	春夏物と秋冬物の転換期のため、売上が減少している。
一般製材業	例年6月は加工実績が多い時期であるが、今年は前年の加工実績が少なかった分、より多く感じられた。7月についてもこの状況は続くと思われるので、人員等の対応を心掛けていきたい。
建具製造業	各組合員ともに、受注状況は思わしくない様子である。
木材・木製品製造業	イギリスの問題など、ヨーロッパの今後の気がかりだ。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品…売り上げについては、富士重工等の受注が順調に推移している。販売価格は総じて不変であるが、供給部品の中には一部円高の影響により、厳しくなっているものがある。 ・建設関連…中国の景況悪化により売上高が減少。国内での売り上げはやや増加している。価格面では厳しい状況が続いている。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・白物家電…季節需要で増産 ・自動車…大型車は不振
一般機械器具製造業	仕事量と収益が比例しない。さらに、コストダウン、納期短縮、品質要求等によって全体的に操業が危ぶまれている。
一般機械器具製造業	本年6月の報告はほぼ前年同様となったが、決して楽観できる状況ではない。引き続き不景気感が感じ取れる。
各種商品卸売業	<p>昨年同期と比べ大きな景況変化はない。</p> <p>雇用や所得環境の改善が進みつつあり、緩やかな景気回復基調が続いているが、イギリスのEUからの離脱に伴う企業経営への影響(金融市場の混乱)を懸念する声が多かった。</p>
食肉小売業	仕入商品が高値で、売価も値上がりしたため、安価商品の購買になった。国産品の市場出荷が少なく、高値である。輸入商品は円高でも現地の相場が高く、高価格は変わらない。
中古自動車小売業	新車・中古車共に動きが悪い。下取車の減少で良質の中古車が市場に出ない。
各種商品小売業	消費税の値上げがなくなり、消費の駆け込みがなくなって平穏な6月だったが、消費は今一つだった。早期の景気対策をお願いしたい。
各種商品小売業	<p>全体として売上高は前年と変わらなかったが、客数は前年比94%と大幅に落ち込んでしまった。前年に実施されなかった「特別招待会」がイレギュラー的に実施されたにもかかわらず、全体としての結果に伴わなかったことは重く受け止める必要がある。</p> <p>7月もセールの出来で左右されると予想されるため、しっかりと販促に力を入れていきたい。</p>

花・植木小売業	本格的な産地の切り替え時期に入り、色菊や小菊等を中心に品薄感が出て、また19日（日）の父の日需要で黄色系のヒマワリやバラ、カーネーション等を中心に引き合いも強くなり、市場の相場はやや高めでの値動きとなった。 今後は婚礼需要も一段落し、本格的な梅雨時期を迎えて小売の動きも鈍くなるので引き合いは弱くなっていくが、カーネーションや小菊等は入荷量が不安定なため、高冷地産がしっかりと出揃ってくるまで強めでの市況推移が予想される。
自動車整備業	各組合員工場と組合工場の一体運営について再検討している。職員も創業時の苦労を知らない世代になっているので、過去を知ることも必要であると考えている。
理容業	高齢・後継者なしの組合員の脱退が増加しており、深刻な問題となっている。
ビルメンテナンス業	入札による受託業務量が減少している。収益の悪化は一時的なものと思われる。
給食センター	平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。 食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造したシニア向け弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	6月の業況は、9割の宿で昨年度を下回った。昨年度あった「ふるさと旅行券」の反動も考えられる。また7月には選挙の影響も懸念されるが、一部の宿に限られるものの、予約状況は悪くないと聞いている。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは60%減、敷物用ラベルは56%減、壁装用ラベルは31%減であった。 本年4～6月累計では、前年同月比カーテン用ラベル74%減、敷物用ラベル45%減、壁装用ラベル50%減であった。 ラベル支給（売上）金額前年同月比は29%減、累計52%減であった。 今期に入り大規模工事が減少し、4月、5月、6月累計を見ても、建設業界とともに内装工事の受注減少が顕著に表れている。
一般貨物自動車運送業	荷動きが低調に推移したことに加えて、燃料価格が大幅上昇に転じた。結果として収益状況が悪化し厳しい環境となっている。ドライバー不足も引き続き深刻である。
貨物軽自動車運送業	6月初旬頃から多少回復してきているが、昨年同月と比べると輸送量は全般的に減少している。 日本商工会議所が発表した人手不足等に関する調査によると、運送業で「人手が不足している」と答えた企業の割合は72.8%にのぼり、人手不足感が一層強まっている。
一般乗用旅客自動車運送業	対前年比で2.7ポイント減少している。しかし週末等は、遅い時間帯にタクシーが不足している状況が若干見受けられる。
大谷石採石業	前年同月比較で、ほぼ同じレベル（微増）で推移した。